

ホタテガイ養殖管理情報

成員向けに適切な養殖管理を行い親貝の確保を！

安定した稚貝の確保のためには親貝となる成員の生産数を増やす必要があり、半成員出荷予定の一部を成員向けにすることも必要です。成員の生産には半成員よりも適切な養殖管理が必要のため、**養殖籠1段当たりの収容枚数を少なくし、入替作業時に以下の点に注意してください。**

1 異常貝とは？

外套膜（通称、ヒモ）に傷ができて、そこから出血した血が固まったものが内面着色です（図1）。貝殻は外套膜で作られますが、外套膜に傷ができるとその部分で貝殻が作れなくなるため、欠刻になります。また、落下など物理的衝撃でもエラやウロ付近に内面着色が見られます（図2）。いずれも**異常貝の原因は病気ではなく、“ケガ”**です。

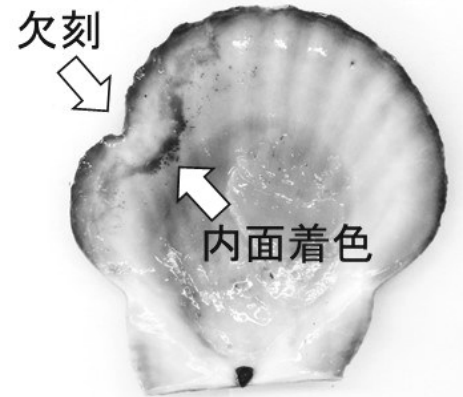


図1 異常貝

2 成員向けの貝の養殖管理上の注意点

- (1) 成員を生産する場合は、**今春に入替を行い、1段当たりの収容枚数を少なく**しましょう。
- (2) 成員向けには**異常貝の少ない施設の貝を**使しましょう。
- (3) 丸籠（蛙又）は貝が擦れてケガしやすく、へい死しやすいので（図3、4）、なるべくパールネット（ラッセル）を使いましょう。
- (4) 不安定な養殖施設は波浪や速い潮の影響を受けやすいので、**ホタテガイがケガをしないように養殖施設を安定**させましょう（図5）。



図2 エラやウロ付近の内面着色

成長が良く、調整玉の沈むペースが速い場合でも、**過剰な玉付けで調整玉を流すことのないように気**をつけましょう。籠数が多い施設では、適切な玉付けや養殖管理が難しくなるので籠の下げすぎに注意しましょう。

- (5) ホタテガイに**ケガをさせない**という意識を持ち、**丁寧**に扱きましょう。
- (6) **半成員の殻長は平年よりもかなり小さい**状況であることから、耳吊り用の穴を開ける場合に外套膜を傷つけることを避けるために、またマダイの食害を避けるために、**成員向けの貝は丸籠やパールネット**での養殖を検討しましょう。



図3 丸籠（蛙又）のテグスの結び目に食い込むホタテのヒモ

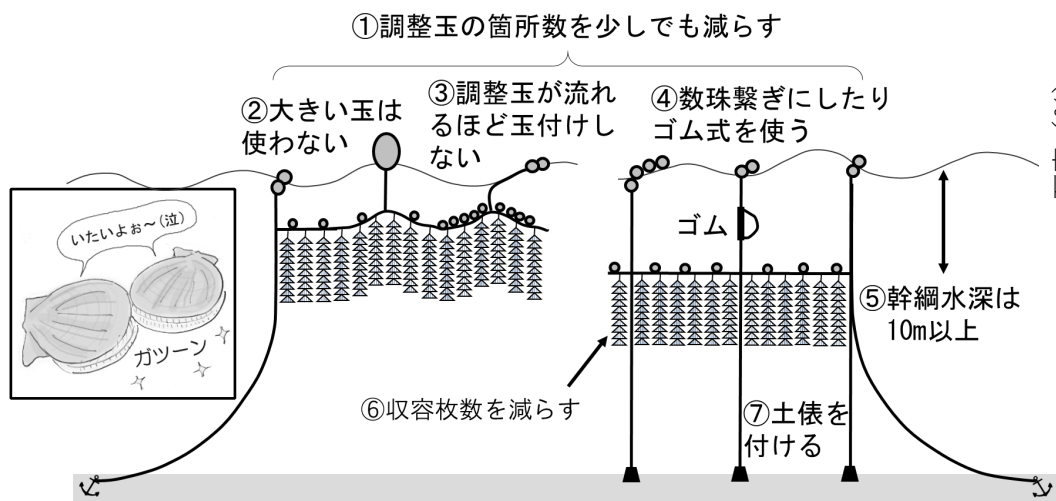


図5 養殖施設のイメージ（左半分が不安定施設、右半分が安定施設）

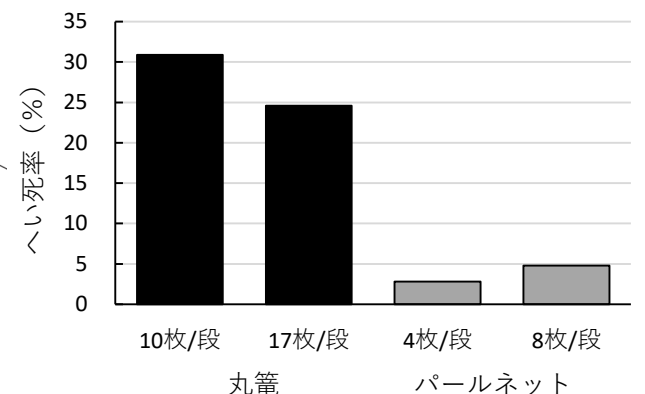


図4 3月に入替を行った丸籠とパールネットの10月のへい死率（令和2年10月成員向け新貝の調査）

